

市民講座のご案内

12月10日(土) 15時00分より

会場／海洋博覧会記念公園管理財団 総合研究センター／視聴覚室
(沖縄県国頭郡本部町字石川888番地) ※案内図は下記

一般の方々を対象とした市民講座を琉球大学熱帯生物圏研究センターおよび海洋博覧会記念公園管理財団との共催で行います。

一般に良く知られているようで、実は謎の多い「サメ」「ウナギ」「サケ」についての最新の研究成果を分かりやすく紹介いたします。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

「サメ・エイ類の繁殖術～海の王者のミステリー」



佐藤 圭一 博士
沖縄美ら海水族館 魚類課

サメ・エイ類は約1,400種からなる動物群で、30,000種を超える魚類の中では比較的小さな一群です。しかし、板鰐類の繁殖様式はきわめて多様で、他の魚類には見られない特異な進化を遂げました。我々の想像を超えたサメ・エイの繁殖様式を、実例を紹介しながら解説します。

「ウナギのふしぎ」



香川 浩彦 教授
宮崎大学
農学部 海洋生物環境学科
魚類繁殖生理学研究室

誰でも知っているウナギ。でも、本当にウナギのことを知っていますか？ ウナギがどこで生まれて、どんな旅をするのか？ そして、ウナギを産卵させて子どもを育てるのは非常に難しいことだと知っていますか？ 日本の研究者の手で、世界で初めて、ウナギを増やすことに成功しました。そんな不思議なウナギの話を聞いてください。



「サケが生まれた川に帰る謎」



上田 宏 教授
北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター

サケは、体重1gの稚魚が生まれた川(母川)のニオイを記憶して春に降海し、オホーツク海からベーリング海、そしてアラスカ湾において餌を求めて大回遊します。そして、平均4年後の秋に体重3kgになって、川のニオイを頼りに母川に帰り、繁殖し子孫を残して死亡します。サケが母川に帰る謎を解き明かすために行ってきた研究を紹介します。

プログラム

- 15:00～15:40 「サメ・エイ類の繁殖術～海の王者のミステリー」
佐藤 圭一 博士 (沖縄美ら海水族館 魚類課)
- 15:40～16:20 「ウナギのふしぎ」
香川 浩彦 教授 (宮崎大学 農学部海洋生物環境学科)
- 16:20～17:00 「サケが生まれた川に帰る謎」
上田 宏 教授 (北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター)

会場までの地図



お問い合わせ

海洋博研究センター 普及開発課 (財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団 総合研究センター)
Tel: 0980-48-2266 / E-mail: oerc@kaiyohaku.or.jp / Web: http://kaiyohaku.jp/grc